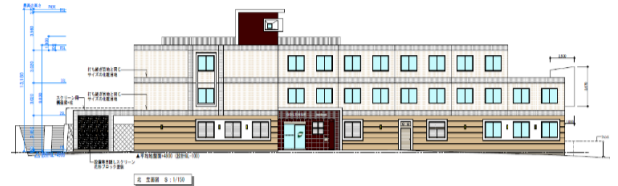


CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 碧南市山神町サービス付き高齢者向け住宅併設デイサービス	階数	地上3階
建設地	愛知県碧南市山神町1丁目47番、48番、106番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	60人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2024年4月 予定	評価の実施日	2023年5月18日
敷地面積	3,714 m ²	作成者	片岡達哉
建築面積	842 m ²	確認日	2023年5月18日
延床面積	2,354 m ²	確認者	片岡達哉



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★★★★</p>	<p>★★★★★</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 81%</p> <p>③上記+②以外の 45%</p> <p>④上記+ 45%</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7</p>

LR 環境負荷低減性		
<p>LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.4</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>5.0</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>0.0 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>2.7</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} - \text{建築面積} - \text{附属物面積}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (仮称)碧南市山神町サービス付き高齢者向け住宅併設デイサービス

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:
 ■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						全体
配慮項目	独自基準	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体		
	重点項目								建物全体・共用部分	建物全体・共用部分
Q 建築物の環境品質									2.5	
Q1 室内環境									2.9	
1 音環境									2.4	
1.1 室内騒音レベル									0.1	
1.2 遮音									2.6	
1 開口部遮音性能									0.15	
2 界壁遮音性能									2.2	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									2.2	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									1.00	
1.3 吸音									1.00	
2 温熱環境									2.6	
2.1 室温制御									0.3	
1 室温									2.6	
2 外皮性能									2.6	
3 ゾーン別制御性									1.00	
2.2 湿度制御									0.5	
2.3 空調方式									3.0	
3 光・視環境									3.0	
3.1 昼光利用									0.2	
1 昼光率									3.0	
2 方位別開口									3.0	
3 昼光利用設備									0.40	
3.2 グレア対策									0.3	
1 昼光制御									3.0	
3.3 照度									3.0	
3.4 照明制御									0.15	
4 空気環境									3.5	
4.1 発生源対策									0.2	
1 化学汚染物質									3.5	
4.2 換気									0.5	
1 換気量									4.0	
2 自然換気性能									0.50	
3 取り入れ外気への配慮									1.00	
4.3 運用管理									0.3	
1 CO ₂ の監視									3.0	
2 喫煙の制御									3.0	
Q2 サービス性能									2.8	
1 機能性									3.0	
1.1 機能性・使いやすさ									0.4	
1 広さ・収納性									2.4	
2 高度情報通信設備対応									0.4	
3 バリアフリー計画									3.0	
1.2 心理性・快適性									0.4	
1 広さ感・景観 (天井高)									3.0	
2 リフレッシュスペース									3.0	
3 内装計画									1.00	
1.3 維持管理									0.3	
1 維持管理に配慮した設計									1.0	
2 維持管理用機能の確保									3.0	
2 耐用性・信頼性									2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振									0.3	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)									2.9	
2 免震・制震・制振性能									0.48	
2.2 部品・部材の耐用年数									0.4	
1 躯体材料の耐用年数									3.0	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔									3.0	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									0.20	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔									0.3	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔									0.33	
6 主要設備機器の更新必要間隔									0.23	
2.4 信頼性									0.1	
1 空調・換気設備									2.6	
2 給排水・衛生設備									0.19	
3 電気設備									3.0	
4 機械・配管支持方法									3.0	
5 通信・情報設備									3.0	

3 対応性・更新性				0.2	2.5	0.29	2.4	2.4	1.00	2.4
3.1 空間のゆとり				0.3	1.8	0.31	1.8	1.8	0.50	
	1 階高のゆとり			-	1.0	0.60		1.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ			3.0	3.0	0.40		3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31		3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				0.3	2.6	0.38				
	1 空調配管の更新性	②		-	3.0	0.17				
	2 給排水管の更新性			3.0	1.0	0.17				
	3 電気配線の更新性			3.0	3.0	0.11				
	4 通信配線の更新性			3.0	3.0	0.11				
	5 設備機器の更新性			3.0	3.0	0.22				
	6 バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30				1.7
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		-	2.0	0.40				2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30				2.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④		-	2.0	0.50				
	3.2 敷地内温熱環境の向上			-	2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性										3.3
LR1 エネルギー					-	0.40				3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m 0.70	3.0	5.0	0.30				5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	3.0	0.20				3.0
3 設備システムの効率化			BEI _m 0.77	3.0	3.6	0.30				3.6
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20				3.0
	集合住宅以外の評価			1.0	3.0	1.00				
	4.1 モニタリング			3.0	3.0	0.50				
	4.2 運用管理体制			3.0	3.0	0.50				
	集合住宅の評価			-	-	-				
	4.1 モニタリング			-	3.0	-				
	4.2 運用管理体制			-	3.0	-				
LR2 資源・マテリアル					-	0.30				2.7
1 水資源保護				0.1	2.2	0.15				2.2
	1.1 節水			3.0	1.0	0.40				
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			0.6	3.0	0.60				
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67				
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	2.7	0.63				2.7
	2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.07				
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.25				
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	②	-	-	3.0	0.21				
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	独自	-	3.0	1.0	0.21				
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	-	-				
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自	躯体と仕上げ材が容易に分別可能	3.0	4.0	0.25				
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22				3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32				
	3.2 フロン・ハロンの回避			0.6	3.0	0.68				
	1 消火剤			-	-	-				
	2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50				
	3 冷媒			3.0	3.0	0.50				
LR3 敷地外環境					-	0.30				3.4
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2概算値:48%	-	5.0	0.33				5.0
2 地域環境への配慮				0.3	2.4	0.33				2.4
	2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25				
	2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50				
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			0.2	2.7	0.25				
	1 雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25				
	2 汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25				
	3 交通負荷抑制	独自		-	3.0	0.25				
	4 廃棄物処理負荷抑制			-	2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33				3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			0.4	3.0	0.40				
	1 騒音	独自		-	3.0	1.00				
	2 振動	独自		-	-	-				
	3 悪臭			-	-	-				
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			0.4	3.0	0.40				
	1 風害の抑制			-	3.0	0.70				
	2 砂塵の抑制			-	3.0	-				
	3 日照障害の抑制			-	3.0	0.30				
	3.3 光害の抑制			0.2	3.0	0.20				
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	3.0	0.70				
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30				

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称) 碧南市山神町サービス付き高齢者向け住宅併設デイサービス

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				5.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	5.0	0.10	
② 資源の有効活用				2.7
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.5	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:0%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称) 碧南市山神町サービス付き高齢者向け住宅併設デイサービス

計画上の配慮事項	
総合	自然エネルギーを最大限に活用し、安全で使いやすい施設となるよう配慮した。
Q1 室内環境	適切な温度管理ができるよう、個別空調を採用した。
Q2 サービス性能	極力無駄のないレイアウトとした。
Q3 室外環境(敷地内)	極力無駄のないレイアウトとした。
LR1 エネルギー	外皮の断熱性能を適切にしたうえで、できる限り自然エネルギーを活用できるようにした。
LR2 資源・マテリアル	出来る限り有害物質を含む材料を使用しない。
LR3 敷地外環境	大気汚染、騒音等周囲の環境に悪影響を及ぼす事の無いよう配慮した。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。